

那覇地区中体連参加チーム用（選手・監督・コーチ・引率者 等） 新型コロナウイルス対応版チェックリスト

中学校 競技名

監督氏名：

シーン	項目	チェック欄	備考
1 事前準備	1 チーム内において感染対策責任者を定め、会場の感染対策責任者を把握する。		
	2 大会に参加する上での注意事項を選手・スタッフ全員が理解する。 （不安がある場合は参加を見送る）		
	3 大会の全日程を通して、マスク着用による熱中症等の健康被害について、指導者は選手等に対して十分理解させるよう指導する。		
	4 専門部から健康チェックシートを入手し、大会開催日まで健康チェックを行う。		
	5 選手の保護者が大会の会場、日時、を理解しており、参加を了承している。 （了承しない場合は無理に参加させない。）		
2 往復の移動	1 マスクを着用する。（基本的には常時マスクを着用する。熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外し、他者との間に十分な距離を保つ。）		
	2 往復の交通公共機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。		
	3 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。		
	4 モノレール切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。		
	5 バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話も控える。		
	6 目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。		
	7 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。		
3 競技前	1 選手・指導者・スタッフはマスクを着用する。		
	2 健康チェックシートを感染対策責任者に提出する。		
	3 着替えを素早く済ませ、更衣室（トイレ等）から早く出る。		
	4 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。 更衣終了後は更衣室（トイレ等）の窓とドアを開けっ放しにする		
	5 握手やハイタッチ等は行わない。		
	6 円陣は行わない。		
	7 ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。		
4 競技中	競技中の関係者のコミュニケーション、給水等		
	1 指導者・スタッフ、選手は全員マスクを着用する。		
	2 競技以外の不要な接触を避ける（ゴール後の喜び、握手等）。		
	3 競技中チームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。		
	4 控え場所での選手間の距離を保つ。		
	5 控え選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。		
	6 競技中に行う飲水は自分専用のボトルを使用する。ボトルを他の選手と共有しない。		
	7 水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。		
	8 タオル等を他の選手と共有しない。		
	9 うがいした水は、指定された場所以外では吐かない。		
	10 咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。		
	競技終了後の対応		
	1 控え場所に戻る前に消毒や手洗い、うがいをする。		
	2 付き添いの生徒との接触にも十分注意を行う。		
	3 競技役員と会話をする事があったとしてもその距離には十分に配慮する。		
	4 怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、トラック外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。		
	5 競技後の密集してのチームミーティングを行わない。		
5 競技後	1 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。 更衣終了後は更衣室（トイレ等）の窓とドアを開けっ放しにする		
	2 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。		
	3 競技終了後、会場から早く出る事前準備、計画を立てておく。（送迎計画等）		
	4 試合会場のルールに従い、ゴミは持ち帰る。		
6 帰宅後の過ごし方	1 手洗いうがいを徹底する。		
	2 バランスの良い食事をとる。		
	3 検温と共に行動記録を書く。		
	4 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。		
7 事後対応	1 帰宅後14日以内にチームの中から感染者が出た場合は、那覇地区中体連事務局に速やかにその旨伝える。		

チーム感染対策責任者：